

COMEX金先物マーケットレポート

平成22年1月19日

みずほ投信投資顧問株式会社

COMEX金先物価格(中心限月)

2009/12/31	2010/1/15	騰落幅	騰落率
1096.2 ^{ドル}	1130.5 ^{ドル}	+34.30 ^{ドル}	+3.13%

ニューヨーク市場終値

今後(2010/1/19~2010/1/29)の主なイベント

- 1/20(水) : 米 新規住宅着工件数
- 1/26(火) : 米 FOMC (~27日)
- 1/27(水) : 米 新築住宅販売件数

FOMC:米連邦公開市場委員会

相場概況と今後のポイント

金市場では為替市場との連動性が高い状況が続いており、為替市場の最大のテーマである「米国経済の回復状況と利上げ時期」の判断材料となる米経済指標等の発表に左右される展開となりました。

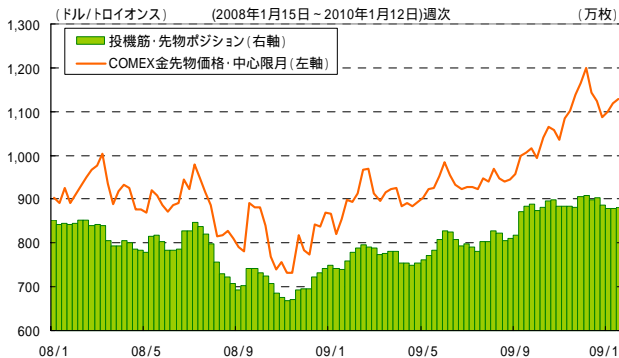
4日～8日週の金市場は、週初のISM(米サプライマネジメント協会)製造業指数が予想を上回ったことを契機にドル売り高金利通貨買いが進んだ結果、1オンス1100ドルを回復して始まりました。その後も、米低金利長期化観測からドル安が進み、7日に1133.7ドルまで上昇しました。週末の8日には米雇用統計の発表がありましたが、その内容は早期利上げを予想させるものではなく、金市場は1138.9ドルで引けました。11日～15日週の金市場は、週初はドル安により1151.4ドルまで上昇したものの、12日に中国人民銀行が預金準備率の引上げを発表したことから、途上国の景気減速による商品価格の下落や商品市場からの投機マネーの流出の懸念により1129.4ドルまで下落したのち、1130.5ドルで週末を迎えました。

今後も、米経済指標の発表による為替相場の変動に振られる相場展開が予想されます。特に、いつ米雇用関係の指標が下げ止まるかが注目点となっており、緩やかな下げ止まりであれば米低金利の継続観測から金相場にはプラス要因、大幅良化した場合には米利上げ時期の前倒し観測から金相場のマイナス要因となる可能性が高いと考えられます。

COMEX金先物価格(中心限月)と移動平均線の推移



COMEXにおける投機筋の先物ネットポジションとCOMEX金先物価格(中心限月)



ユーロ/米ドル為替レートとCOMEX金先物価格の推移



[投資信託のお申込みに際しての一般的な留意事項]

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券などの値動きのある証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際は投資信託説明書（目論見書）の内容をよくお読みください。

投資信託は、預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。

投資信託に係る費用について

みずほ投信投資顧問株式会社が運用する投資信託については、ご投資いただくお客さまに以下の費用をご負担いただきます。

直接ご負担いただく費用

- お申込み手数料 : 上限 3.675% (税抜 3.5%)
解約手数料 : 解約の価額の水準等により変動する場合があるため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません
信託財産留保額 : 上限 0.5%

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬 () : 上限 2.10% (税抜 2.00%)

基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬額の加算によって、ご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用

- 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
投資信託説明書（目論見書）等でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用の項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、みずほ投信投資顧問株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なります。

投資信託をお申込みの際は、販売会社から投資信託説明書（目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りになり、投資信託説明書（目論見書）の内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

みずほ投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第398号
加入協会 / (社) 投資信託協会 (社) 日本証券投資顧問業協会